

本日の内容項目《個性の伸長》 【A・B・C・D】（○で囲む）

A：主として自分自身に関すること

B：主として人との関わりに関すること

C：主として集団や社会との関わりに関すること

D：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

本日の主題名《長所をのばす》

【1】主題解釈：この主題を学ぶ意義を捉えよう。

（1）まず「内容項目」について、自分自身の捉えを書き出してみましょう。

		自分なりに考えて（自己理解）	他の先生方と話して（他者理解）
価値理解	① この内容項目の大切さ ※それはなぜ大切なのでしょう。	・人にはそれぞれ長所がある。しかし長所よりも短所の方が先に頭に浮かんでしまうことが多い。長所に気付き長所を伸ばしていくことで、より良い自分になっていく。	・人は長所に気づき前向きに生活していくことが大切。
人間理解（誰にでもある弱さ）	② この内容項目の難しさ ※いつでもできますか。誰に対してもできますか。	・自分の短所と向き合うのは難しい。また、短所を乗り越え、自分の強みとしていくのはさらに難しい。	・出来ないことや苦手なことを進んでしようとは、なかなか思わない。 ・短所を直そうと、いざ取り掛かってみてもすぐには直らず諦めてしまったり、人と比べてしまったりする。
人間理解（弱さを越えてよりよく生きようとする強さ）深まった価値理解（新たな気づき）	③ それでもなおの大切さ ※難しさを越えて大切にしたいのはなぜでしょう。	・長所も短所も自分の特徴であるため、自分と向き合い続けることで、人は成長していくから。	・より良く生きていくために、長所を伸ばすことや、短所を克服することが大切だから。

（2）学習指導要領を見てみましょう。

④学習指導要領の該当ページに書かれている「大切さ」や「難しさ」、「指導の要点」など。

児童が自分らしい生活や生き方について考えを深め、将来にわたって自己実現を果たせるようにするために、長所を伸ばし、短所を克服することが大切である。また、人にはそれぞれ特徴がある。しかし、自分の特徴を良い方向へ伸ばしていくことが出来ず、苦手なこととして改善をすることがなければ短所となってしまう。長所を伸ばすように促すとともに、短所についてもしっかりと受け止め、努力によって望ましい方向へ改め、自分のよさを一層生かし、さらにそれを伸ばしていけるように配慮することが大切である。

（3）「本日の主題」に焦点化して考えてみましょう。

⑤本日の主題はなぜ、児童生徒にとって大切なのだと思いますか。

自分自身を見つめ直し、自分の特徴を知ること視野が広がり、将来にわたって自己実現を果たせるようにするため。そして、前向きに物事を考えてより良く生きるため。

⑥ ⑤に照らして、本学級の児童生徒は、どのような実態にありますか。（できているところ、まだのところ）

本学級は自分の弱さやしんどさを正直に伝えたり、相手の気持ちを受け止めたりすることが出来る児童が多い。しかし、自分のよさを見つけることに課題がある。全校の課題として、自己肯定感を上げる取り組みを行った結果、道徳アンケートの「自分には良いところがある」の項目では、肯定的に評価した児童が3・4年生共に100%であった。一方で短所を長所に変えていくための努力をしている児童は少ない。

どんな指導の方法で授業するか、考えましょう。まず「教材」を見てみましょう。

【2】：教材のどこを用いて授業を作るのか、考えよう。

本日の教材名《つくればいいでしょ》 ㊦・中 第《3・4》学年 出版社・教科書名《日本文教出版》

⑦登場人物の役割を捉えよう（主題に照らして）

※主人公はどんなことに悩んでいますか。また他の人物は主人公にとってどのような位置にいますか。

- 【主人公】 短所ばかり見つかって長所が見つからないことに悩んでいる。また、母親から「見つからなければつくればいいでしょ」と言われても、自分には何もないと悩んでいる。
- 【さと子】 主人公のいいところを伝えてあげる。しかし主人公は満足していない。
- 【愛子さん】 主人公の親友で、主人公のことを気にかけ、長距離の練習に誘う。主人公の気持ちに変化を与えていく。

⑧主人公の悩み・葛藤・迷いなどの「難しさ」の部分はどこでしょうか。また、「難しさ」を越えてよりよく生きようと決心したり、明るい気持ちになったりする部分はどこでしょうか。

- ・友達から長所を言ってもらっても満足できないところや、友達から長距離の練習に誘ってもらったが、練習するかどうかもよったが、一緒にすることにした。
- ・弱さを乗り越えた場面：長距離の練習を何度もやめたいと思ったが、やめると自分の短所のすぐ諦める性格を変えられないと思って辞めずに頑張る。
- ・大切な価値に気づいた場面：長距離の練習を始めてから今までを回想していく中で、お母さんの「つくればいいでしょ」と言っていたことも、分かってきたように思えた。

【3】授業のねらいとゴールの姿、それを導く発問と板書を考えよう。

⑨ねらい：「〇〇する活動を通して、～～～しようとする道徳的な判断力（道徳的心情、実践意欲と態度）を高める」	ねらい：「得意ではない長距離の練習を、諦めずに続けた「わたし」がすぐ諦める性格を変えようと努力したその気持ちを考えることを通して、自分の苦手なことや短所を克服していくことの大切さに気づかせ、長所を伸ばすために努力していこうとする態度を養う。」
⑩ゴールの姿：⑨のねらいが達成されたとして、授業の最後には、例えばどのような言葉が児童生徒から出てくるとよいでしょう。複数考えてみましょう。	「短所でも続けていけば長所になる。頑張ればもっと成長できる。」 「自分にはいいところがたくさんある。長所は誰にでもある。」 「長所はつくれることを知ったから、長所をつくってみたい。」 「努力することで、短所を克服できる。」 「もっとみんなで長所を伸ばしていきたい。」
⑪そのゴールに向けた展開として、⑧で見た主人公の「悩みや葛藤など」を捉えさせる発問はどのようなものが考えられますか。	「わたしが長距離の練習をやめなかったのはどんな気持ちからでしょう。」 <u>発言後、「そういう気持ち、分かるねえ」と共感を入れると、子どもは安心する。</u>
⑫そのゴールに向けた展開として、⑧で見た主人公の「難しさ」を越えてよりよく生きようと決心したり、明るい気持ちになったり」を捉えさせる発問はどのようなものが考えられますか。	「お母さんに「つくればいいでしょ。」と言われたことが、わたしにはどう分かってきたのでしょうか。」 <u>発言後、「なるほど、そういう考え方が大切なんだね」と共感すると、子どもは今後の生き方にしっかり見通しを持つ。</u>

※上記をもとに、思考を促す発問計画、板書計画を作成していきましょう！

（令和4（2022）年度改訂版 宮里智恵作成を参照）